

四方竹(高知)

「四方竹」は珍しい秋収穫の貴重な秋の筍です。その期間は約1か月間ともいわれており、産地である高知の秋の味覚として有名です。生のままでは大変傷みやすい為、産地で下処理を行い、灰汁抜きされて出荷されます。和食では煮物から天麩羅、和えもの、しかし和食だけではなく、ボイルをしてドレッシングやソース、グリルしてベーコンなどと香ばしく、特にホワイトソースとの相性が良いともいわれています。

"Shin Yurine", New Lily bulb, Lily bulb-early harvest 「ユリ根」は、東洋では古くから滋養・消炎などの薬として珍重されてきました。栄養価が高く、カリウム、鉄、リンが豊富で、食物繊維を多く含みます。また、加熱してもビタミンの損失が少ないと言われています。主に正月の「おせち料理」に使われることも多いですが、その他、和え物、天ぷら、煮物、グラタンなどにも使われ、ホクホク、ふんわりとした食感を楽しむことができます。「ユリ根」は植え付けから収穫まで3年以上と大変手間と時間のかかる野菜、その為高級食材として取り扱われます。10月は「新」特有のギュッとした佇まいの新百合根が出回開始です。

加賀野菜「五郎島金時」(石川)

石川県金沢市の五郎島地区はの砂地は 美味しいさつま芋作りに最適だということ が発見され、今では全国的にも有名なブ ランドサツマイモとなりました。「五郎島金 時」は高系 14 号の選抜品種の糖質系の さつま芋で、ホクホクとした食感があり、と ことなく懐かしさも感じられる風味が特徴 です。繊維質も少なく、加熱をすると一層 甘みが強く感じられます。

美しい☆チコレフリーゼ (長野)

珍しいレモンイエローのサラダ素材

軽やかなレモンイエローのサラダ素材として、 繊細で葉が最も細いタイプのエンダイブとして 知られている「チコレフリーゼ」。中が軟白し て、フワフワの印象で盛付け時もとても美し く、お料理を彩ります。細くサンゴのようなきめ 細かな葉の形状が特徴です。

スナックエンドウ(長崎)

スナックエンドウはグリーンピースの改良品種で、サヤごと 食べられ、パリッとした食感が好評です。茹でても、揚げて も、美しい緑色と優しい甘さが特徴。様々にお使いいただけ ます。

下仁田葱(群馬)

今や冬場の美味しくて甘いねぎの代名詞ともなっている下仁田葱。殿様葱として古くから献上品としても有名です。火を通すとトロンとした口当たりです。暖かいメニューが増えてくると大活躍する食材。太くて重量感のある外見が特徴です。

Elegand Mis メインに負けない華やか さとハーブの香り

繊細に品よく香るマイクロハーブミックス

『エレガンテ』 (埼玉 CREO)

リーフの中でも一番小さなサイズのマイクロリーフミックス。今までとは少し尖ったアプローチのハーブの香りとスパイシーさをもったミックスで、小さなトッピングリーフですが、メイン料理に負けない味のインパクトがあります。レッドとグリーンの配合もバランス良く入れました。濃い味のソースと併せても主張するような「味」もあるミックスです。特徴のあるリーフを集めましたので軽く散らしてプレートを飾っても美しく映えます。もちろんそのまま、ハーブサラダとしても。見た目も味もゆっくりと楽しめる、7種のリーフが贅沢かつエレガントな時間を演出します。